

渋沢栄一と関東大震災

次の1万円札の肖像で注目されている渋沢栄一は1923年の関東大震災のときにも活躍しています

地震発生時、栄一は東京の渋沢事務所にいましたが無事避難しました

ガタガタ



このとき
83歳です

その後自宅を拠点に炊き出しを行ったり、強調会（労働団体）として被災者の救護活動に当たりました

収容所、炊き出し、情報案内所、掲示板、臨時病院など被害者のための施設をつくっています



もちろん経済復興についても力を尽くしています
国内外の実業家に呼びかけて資金を集め、孤児院設置などの事業に配分するほか、

政府の帝都復興審議会の委員となって港湾整備を唱えたりしています



とくに
親交の深かった
アメリカから義捐金があつまりました

